



足守を結ぶ拠点

足守のおむすびとレンタルサイクルのお店「結 MUSUBI」

農業の盛んな足守では、水稻が育つ。そこで店舗部分を改装したおむすび屋さんを計画した。おむすびの具には特産品の椎茸、間倉ごぼう、足守メロンを使用。また、足守全体を巡りサイクリングの拠点になるようレンタルサイクルも計画。足守の味と地域を知るきっかけを作る。



「巡って、食べる」を子どもたちに経験してもらおうイベントを計画。店舗奥の和室を活用して、おむすび作り体験を行う。町を巡り、おむすびを作り、みんなで食べる。足守は新たに「食育」の現場に。

「結 MUSUBI」は食で人と地域を結ぶ場。お客さんは、町を巡り、おむすびを食べることで「足守」の一員となる。

店舗部分とバックヤードを繋げ、大きな空間に。外からは店舗を通して奥のダイニングキッチンへと目線が続く。和室は手を加えず、この建物ならではの落ち着いた雰囲気を感じることができる。

訪れた人々を迎える扉には足守地区の特徴である千本格子を取り付け、静かで落ち着いた街並みに調和する。

